

廿夕日三十月二十

# 常磐毎日新聞

定価 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元  
 廣告料 五號十二字 第一行 五元 五折  
 日曜 祭日の 翌日 休刊  
 発行所 常磐毎日新聞社  
 印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社

## 家庭といふもの

成瀬 無極

まだ飛行機に乗つたことはないが、この夏嶺山の納涼臺から金砂をまいた様な夕暮の京の市街を俯瞰して思つたことだつた、あの光点の集團の中に無数の家が立ちならんでゐて、その一軒毎に幾つかの部屋がありその中に幾人かの男女が住んでゐて、仕事をしたり、御飯を食べたり、ラヂオを聴いたり、レコードをかけたり、笑つたり、泣いたり怒つたり、甘へたり、睨めづこしたりしてゐるのだといや、かうして呑気に眺めてゐるうちに人間が生れたり、死んで行つたりするのだと、かう考へると、人間の存在とか生活とかいふものが如何にも憐れで、惨めだといつて馬鹿々々しくなつて來て仕方がなかつた。さう言ふ自分の姿を京の市の諸處方々に置いて、その時の情景を想ひうかべるとまるで蟻の生活を覗いてみるやうで、あさましい氣持ぢがした。言はゞ芥子粒の中で相撲を取つてゐるやうなものぢやないか。燐寸箱の中で芝居をしたり、會議を開いたり、演説をしたり

原稿を書いたり、料理をたべたり、妓に三味線を引かせり、むづかしい顔をして意見をしたり、酔拂つて管を巻いたりしてゐるのだ。何十年かさうした生活を繰り返して、さうしていつのまにかこんなお爺さんになつてしまつた。さう思ふと無暗に腹が立つてきて、此處から爆弾を投下して、あ

【朝】味噌汁・豆腐 小付 生玉子  
 【書】かんもどき煮付  
 【晩】ポタージュ アラ グリンピース ポテ トトバイ  
 小海老フライ レモ

の光の巷を木ツ葉微塵に吹き飛ばしてしまひたくなるさうしたら少しは清々するだらう。そんな氣違ひ染みだした発作に襲はれるのも束の間、押し合へし合ひしなからケープルカーに乗り込んで下界へ降りると、忽ちもとの矮人に復つて、そして落ちて先は自分の住居で、そして所謂家庭の人になつてしまふのだつた。

さて、さうなると一生借屋住ひも氣が利かなくなり

今度新築する友達の身分が羨しくなり、鼠と同居も嬉しくなく、湯殿と便所の汚ないのが苦になつたりする一方にはまた、汽車の窓から市外れの棟割長屋や片田舎の百姓などを眺めて天井の低い二階に腰巻一つで赤ん坊と添寝をしてゐる内儀さんや、入口の土間に筵を敷いて、ひとりばつちで何か熱心に遊んでゐる子供の姿などがひどく可哀相に思へて涙を催したりする。な

【朝】味噌汁・豆腐 小付 生玉子  
 【書】かんもどき煮付  
 【晩】ポタージュ アラ グリンピース ポテ トトバイ  
 小海老フライ レモ

なと、どうせ猫の額のやうなところに居るのだ、廣いも狭いも大きいも小さいも結局比較上の問題で、生活程度の差異は人間の幸不幸を決定するものではない。金殿玉樓に住みながら精神的には乞貧にも劣つた生活をしてゐるものがあるのだとは言ふものゝそこには凡夫の淺間しさで、つい人を羨んだり嫉んだり、或はまた入らざる同情をして却つて怒られます。

### 看護婦急派 求めに應じます

平町南町 平看護婦會 電話三〇七

### 移轉御披露

此程店舗擴張の爲め平町停車場通り元ダイヤ堂路甲陽館向ひに移轉致しました何卒御愛顧御用命の程御願ひ致します

### 時報堂時計店

お寒くなりましたして冷え性のお方はサゾお困りでございませうが

宮温湯を召し上るとキット救はれます

お身體のお弱い御婦人  
 冷え性の方  
 下腹や腰等引きつり痛む方  
 子宮のお悪い方  
 なが血白血でお困りの方  
 月經時に痛みを覚える方  
 子寶のほしい方

是非御試し下さい

平町古銀治町一〇縣社の下

### 阿康薬局

蝶印薬

電話 四四四番  
 振替口座東京三〇〇五番

### 冬の通學服賣出し

中學生用 六号 四四〇〇  
 國防色 七号 四四二〇

黒小倉服 A六号 三三五〇ヨリ  
 特A六号 三三八〇ヨリ

別注文 國防色 五五〇均一  
 特A黒小倉 六四二〇均一

平町 店服洋やかふ 電話三〇二

### 吉田眼科病院

平町屋町 電話六八八番

醫學士 吉田久雄

### 正確な眼鏡は 根本時計店へ

平町二丁目

▲最新型眼鏡各種レンズ 豊富に取揃へてあります (金銀高價買入)

### 鯉魚節

御値段ハ御相談ノ上如何程にても御自由です。

日華生命保險株式會社平代理店

### 穴戸屋商店

平町四丁目 電話(干部)二二五番 (鮮魚部) 四〇七番

### 皇太子御降誕

#### を慶祝して

#### 平小學校の試み

##### 作品募集や奉祝號發行

平町各小學校は来る廿三日の皇太子殿下御降誕記念日に児童の綴方、童謡、清書、圖書作品を募集することとなつたが書方文案は左の通り決定した、尚毎月發行の機關紙「平の教育」を奉祝号として特輯優秀作品を掲載の筈

(尋一)オウジツマ(尋二)日つぎのみこ(尋三)天津日嗣の皇子(尋五)千秋萬歳永無窮(尋六)萬邦無比皇統遠綿(高)瑞雲覆天 祥氣滿地(高)聖壽萬歲寶祚無窮

### 第四校敷地問題で

#### 委員會續行

#### 買収費支出も決定

昨報平第四小學校並に町營グラウンドの敷地買収問題は昨十二日午後一時より會議室に委員會を開催承諾者に對して契約書交付その他を協議した結果来る廿六日に豫約金反當り百圓を交付することに決定、和田氏外三名の未交渉地主も大体廿日頃までには全部完了の見込となつた

更に敷地買収と同時に起つた地主権設定問題も過般新川改修工事の發表された現在の状態は結局磐城炭礦との交渉も簡單に成立すべく本十三日午後一時より敷地買収臨時委員會を續行してこれが對策を協議した

尙敷地買却地主に對する豫

### 市外電話

#### 取扱開始

##### 平夏井兩局で

平郵便局の市外電話は去る十日から福島市外吾妻局と一通話二十五錢で通話するが尙本年四月より開設された夏井局も十日より市外電話の取扱を開始したが郡内各局との通話料左の如くである

△夏井一好間 上平 西  
小川各十五錢 △夏井一湯本 四倉 久ノ濱 綴  
小名濱 泉 根田 勿來  
草野各二十錢

#### 小學校長協議

第三區小學校長協議會は来る廿一日平第二小學校で開かれる

#### 小名濱肥料組合

小名濱魚肥組合の製品入札は昨十二日同組合で行はれたが販賣數量は魚油四千五百貫、鰯粕六百俵であつた

### 上野行常磐線は

#### 急行連日遅延

#### 北の吹雪が祟り

平驛以北、仙臺鐵道局管内は例年より早く襲來した降雪と大吹雪に悩まれた爲め同方面より平驛に到着する上り列車は二、三十分づつ遅延して居り殊に青森發上野行き二〇二急行列車は十日の降一以來平驛着が十

### 圖書展覽會

#### 平第三校講堂に

平第三小學校は明十四十五の兩日全校生徒の圖書作品三千餘点を講堂に飾り圖書展覽會を開くが父兄一般の參觀を希望して居る

### 三署聯合

#### 兵事々務研究

平植田四倉三署聯合兵事々務研究會は来る十八日午前九時より平町會議室に行はれる

### 平第一校

#### 平第一小

平第一小學校では今十三日左記方面へ郊外遠足を行つた

- (尋一)川中子愛宕神社
- (尋二)谷川瀬山三角天
- (尋三)龍門寺(尋四)佐麻久嶺神社(尋五)入山温泉神社(尋六)綴製作所 白水阿彌陀堂(高)一筆輪高野湯 宮炭礦(高)二四倉海岸

### 給水設備を誇る

#### 小名濱魚市場工事

##### 十万五千圓で愈着工

既報一平町濱町魚市場建設は愈々来る廿日東京伊藤式コンクリー製造所請負の下に着工に決定したが工費は埋立六萬五千圓、建築四萬四千五百圓、計十萬九千圓で大規模な荷揚場自動車寄場は勿論給水、照明設備を理想的に整へ全國有数の模範市場を建立する事になつた明年十月までに竣工の豫定である

### 佐藤講演

代議士佐藤庄太郎氏は明十四日午前十時から磐城中學校で歐米状況の講演を行ひ磐城高等女學校は十七日催す豫定である

### 朝日トキー

東京朝日新聞トキー班は本十三日午後六時から平町聚樂館で漫遊ニュース、エイ開戦其他を上映する

### 平町人事

△立町八五 星吉之助氏二男公之さん

### 安齊科醫院

平町・田町 電話四七五番

### 市原醫院

平町・田町 電話一四四番

### 木村科醫院

平町六丁目橋際 電話三〇九番

### 十七日一夜限り

廣澤虎造 雲井雷太郎  
木村重友 東家小樂燕  
會場 聚樂館  
主催 いはらき新聞社

一齒科一般 保存科補綴科 繼續架  
工科 齒列矯正科 小兒齒科 齒槽膿漏科  
一口腔外科 一レントゲン科

### 中野齒科醫院

院長 日本齒科醫學士 中野 惠次  
日本齒科醫學士 西川 誠  
平町山町(松月堂向ヒ) 電話五〇九番

### 冬のサロンの

#### 暖房設備が出来ました

御家庭の延長として是非御利用下さいませ

- 温かい ミルク(牛乳) 十錢
- 御飯物 リプトン紅茶 十錢
- お菓子 十五錢

平・田町 電話三五二 男給の店 イッキ サロン

# 亡國病を撲滅せよ

## 町民保険に着眼して

### 健康相談所の医療整備

#### 平町でも促進運動を

恐るべき文明病として畏怖される結核病患者は益々その猛威を振つてゐるが平町に於ける昭和六年より八年に至る三年間の同疾患に因る死亡者は六年度五二人七年度四八人、八年度七八人と逐年激増し死亡者以外の同疾病者はこの五、六倍の数字に上るべし今やこの亡國の惡疾病の前に戦慄の地獄圖は展開されつゝある状態に陥つてゐる。平町でもこの同疾病の撲滅を期すと共に町民保健の向上を計る意向からこの程平町當局へ疾病患者の調査方を依頼して來てをり平町でもこの醫療機關の充備を簡保當局へ要請する意向であるが如何にして機械文明に影響されて體質低下を餘儀なくされてゐる現代人に取つて恐るべき恐怖病であるだけに簡保局の撲滅對策は非常な苦心を拂はれてゐる。

# 救へ！窮貧者を

## 平の同情週間

### 第一日の成績は不良

#### 街頭に涙ぐましい活動

平町の同情週間に於ける寄附募集は昨日より四日間行はれてゐるが第一日の西部方面の應募額は七百十八戸の九十九圓廿五錢で意外に少く後三日を残して何れも未定で尙今十三日は本町方面の商店街を歩くので相當寄附あるものゝ如く思惟されるが平町の救護者は大体白餘名に上る見こみで同情週間に依る温かい救護の手は現實何の程度まで差し伸べられるか目下助成會並に愛婦會の係員が寒空の街頭に立ち大童で寄附募集に活躍してゐる。

# 顛覆現場

## 漸く交通恢復

過般の磐越東線川前小川郷間列車顛覆事件に依つて破

# 平町宮城郷友

平町宮城郷友會は本年度總會を兼ねて來る十五日午後六時より平町住吉屋本店に開く會費一圓五十錢申込は十七銀行へ

# 門傳家の慶事

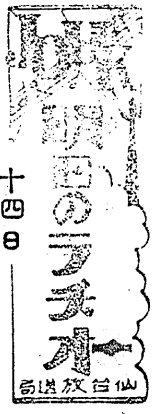
紺屋町門傳清吾氏令嬢君子嬢は今回磐城炭礦病院院長會田氏夫妻の媒酌により磐城勤務法學士荒木計氏と明十日縣社子歙倉神社で華燭の典を擧げ尙午後五時半より住吉屋本店で披露の宴を張る、因に新婦は磐女出身の才媛で婦道一切を納め淑徳の譽れが高い。

# 老爺行倒

植田町添野生れ大平佐平(六八)は今から廿六年前病妻と六才の子供を残して家出北海道にわたり炭焼き獵師

# 無情の伴に

たもので夏井村字藤間坂本善太郎氏もその被害者の一人であるが目下他にも相當被害ある見込で調査中である



天 今明も明日北 西の風晴曇半す

# 今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- お話「超音波の謎」雄山平三郎
- 後六、二五 基礎英語講座
- 四十二、岡倉由三郎
- 後七、三〇 青年の夕
- 演「青年の體験談」札幌
- 仙臺 東京 名古屋 大阪 廣島 福岡より
- 後八、一五 吹奏樂 陸軍

# 明日の部

- 前七、〇一 基礎ドイツ語
- 講座 武内大造
- 前七、三〇 朝の修養「易

# 飛んだサービス商會

## 詐欺を働き名古屋で捕る

誇大廣告で平地方を荒した名古屋の商人逮捕——愛知縣名古屋市驛前サービス商會佐藤誠(三〇)夫妻は今回名古屋署に捕はれたがサービス商會は地下足袋等の通信販賣を全國に爲してゐるが實際の力なきを誇大廣告宣傳に依つて地方商人を欺瞞し多額の契約金詐欺を働いたもので夏井村字藤間坂本善太郎氏もその被害者の一人であるが目下他にも相當被害ある見込で調査中である

# 衝突即死

## 大日本炭礦坑夫

勿來町大日本炭礦探炭夫西川春太郎(三三)は十日午前四時半頃入坑作業中坑口より一キロの箇所にて空車のトローリと衝突即死した

# 内郷消防手

## 表 彰

坑夫を救助 内郷村字白水字柳田内郷第一消防手大越久五郎(三三)同所居住平町川田鐵工場職工

# 歳末に宿屋と難

## 盗んだうへ踏倒す

### 平署から營業者に警告

平驛前小野新旅館に去る八日宿泊した福島市大町野村林之助(四〇)は宿料を踏み倒して逃走捜査中であつたが十二日平町に舞ひ戻つた處を平署員が逮捕、取調べの結果前記犯行の外逃走の際同宿の東京市板橋區板橋町雜貨商須永敏充の現金六圓入ガマ口を窃取したこと自白した

# 交通事故

## 平署防止策

自動業者會合 平署管内自動車業者は本十三日午前十時同署會議室に參集、柴田署長より歳末交通繁忙の折柄の事故防止につき訓辭された

- 經「山口察常
- 前一〇、〇〇 ラカナ
- リヤ啼合實況 赤坂三會
- 堂中繼)
- 前一〇、三〇 母の時間
- 「小學校を卒業する兒童を持つ母へ」桐原保見
- 後〇、〇五 浮世節「吹き寄せ」吾妻家駒之助
- 三曲「須磨の嵐」吉川松壽他
- 後二、〇〇 家庭講「姪娘中の食物」伴伯誠一
- 後二、五〇 法政對策大ラ
- グビー(神宮競技場中繼)
- 後五、三五 講演「エスベラント」とはどんな言葉
- か「菊澤季生」エスベラントの唄」宮城女學校生徒
- 後六、〇〇 子供の時間
- ラデオアラエテイ「少年忠臣藏」東京杉並區第一小學校兒童
- 後六、二五 趣味講座「義士討入」笹川臨風
- 後七、三〇 義太夫「忠臣藏三代目」竹本文字太夫
- 外
- 後八、〇五 忠臣藏歌謡曲
- 東海林太郎 きみ榮
- 後八、一五 芝居囃子「假名手本忠臣藏」
- 後八、五〇 名所案内「泉岳寺」
- 後九、〇〇 時事解説「北支自治と支那今後」の政局」坂西利八郎
- 登「」を協力して救助した人命救助により來る十五日の同村消防檢閲の折柴田平署長より表彰されることになつた





三ヶ所の内一ヶ所を貸與へるとの事、依つて拙者は奉行を退役致した、ことにヒユースケンはいかぬ、何とかしてお命を取り止めたきものであるがこの上意見を致せばとて思ひ止まることはあるまい」

二士の密談

堀織部正の家來三島三郎 吉野政助はそれに手をつき 吉『申し上げ度き事がございましてお目通りを願ひました』

織『それは何ういふ用事か』

と問はれて吉野政助が 政『御病氣でもなく人をお遠ざけなされてお居間におこもり遊ばして何やらお書物をなされること、察するにお役の上について御不快のことがありました、めと存じます』

織『耐えがたき事ありて外國奉行の職は辭した、自説の行はれざるにもかゝはらずその職に居るはまことに恥かしきことである』

政『仰御尤もに存じます、しかし御退役なされたについては定めし仔細あることと存じます』

織『その理由は、外國使節代理として米國のヒユースケンより旅館建設のことについて申し出たが、それを拒絶した、めに安藤侯の怒りにふれ職を辭することになつた、旅館を建設致すことについては故障もござぬが、彼等の望み居る地は

御殿山、またお濱御殿、それに越中島の三ヶ所を望み居る、御殿山は南に海を控へ北にはお城をひかへ、もつとも要害の地である、それにお濱御殿は非常立退き

三ヶ所の内一ヶ所を貸與へるとの事、依つて拙者は奉行を退役致した、ことにヒユースケンはいかぬ、何とかしてお命を取り止めたきものであるがこの上意見を致せばとて思ひ止まることはあるまい」

うだ、腹を切つて死ぬるであらう」 三『それはいかぬ、何とかしてお命を取り止めたきものであるがこの上意見を致せばとて思ひ止まることはあるまい』

政『何うだ三島、殿様御存生中にヒユースケンの首を刎ねて御覽に入れたならば、嗚ぞお喜びなされるであらう』



三島三郎

場でこれまた大切なところである、越中島は練兵場であれば三ヶ所ともかれ等に貸與へることはならぬ、それをヒユースケンは安藤侯に申して借入れると申し居る、また安藤拒もかれの申し出に就いて故障もいはず

政『さぞ御残念にございませう、しかし忍びがたきこととお忍び遊ばすこそ武士とのこと先づ、御短慮遊ばすな』

とかう諫めて二人は自分の住居に、とつたが 政『殿様は決心致し居るや

耳鼻咽喉科専門

鈴木醫院

醫學士 鈴木 正男

平町田町 (電話五八番) 藤田女學校前

とこで二人が翌日麻布の善福寺に來て、墓詣りの者のやうに見せて様子を窺つたが意外に警衛が嚴重です

これでは手を下すことは出来ない、ハテ何としたものかと大いに苦心いたしました。

三『寺に居るかの、寺に居るは死ぬ前衣だ、まづ敵の動靜とその寺の要害をさぐらねばなるまい』

いかに、距れてゐる、叱り付けるが珍らしいからとから、また集る。

Advertisement for 'Ryuzo' (平鷹韻) restaurant, featuring a cartoon character and the text 'レストラント 平鷹韻'.

Advertisement for 'Saijō' (桑原柔道整骨院) clinic, featuring the text '桑原柔道整骨院' and '平町田町電話六七四'.

Advertisement for 'Shimizu Shokudo' (清水食堂) restaurant, featuring a menu of seasonal dishes and the text '季節料理 よせなべ'.